

雷鳴轟くマジックア
ワーの驚異的な大自
然のイメージと、画面
をおおう万華鏡的
なビジュアルエフェク
ト。圧倒的な映像美
でラテン・アメリカ特
有の魔術的リアリス
ムをスクリーンに刻ん
でゆく。「暴力」「性」
「依存症」「家族愛」
「若々しい力」「光に
溢れた海山々」…。闇
と光の交錯する世界
に身をさらし、それ
でも何かにすがり、
愛を見つけて生きて
ゆく人間の逞しさに
魂を揺さぶられる。



BEST DIRECTOR
CANNES FILM FESTIVAL 2012

第65回カンヌ国際映画祭
監督賞受賞

闇のあとの光

メキシコの若き巨匠カルロス・レイガダス監督
日本初公開作品にして最高傑作

監督・脚本・プロデューサー:カルロス・レイガダス 出演:アドルフ・ヒメネス・カストロ、ナタリア・アセベド
原題:Post Tenebras Lux / メキシコ=フランス=ドイツ=オランダ / 2012年 / カラー / 115分
提供:フルモテルモ、コピアポア・フィルム、日本スカイウェイ 配給:フルモテルモ、コピアポア・フィルム
後援:セルバンテス文化センター 宣伝:Playtime、平井直子

©NoDream Cinema, Mantarraya Producciones, Fondo para la Producción Cinematográfica de Calidad (Foprocine-México), Le Pacte, Arte France Cinema post tenebras LUX

魔術的リアリズムに溺れる、鮮烈の映像美。

「悪魔」なのか、それとも「神」なのか?

メキシコのとある村。ファンは愛らしいふたりの子供と美しい妻ナタリアとともに何不自由ない恵まれた日々を送っていた。ところがある夜、赤く発光する「それ」が彼の家を訪問したときから、なにげない平和な日常が歪みはじめる。

掘ったて小屋で行われる依存症の集会、寄宿学校でのラグビーの練習風景、サウナに集まり乱交する上流階級の人々、光降り注ぐ浜辺にたたくも成長したふたりの子供、不意に人に取りつく暴力、親戚が一堂に会する華やかなパーティー……光と闇が互いに戯れるがごとく交わる世界の断片は、1発の銃声によって新たな位相に導かれてゆく。ファンの家に現れた「それ」とはいったい何だったのか? 禍をもたらす「悪魔」なのか、それともどこかに彼らを導こうとする「神」だったのか…。

メキシコの若き巨匠日本初公開にして最高傑作!

「本年度もっとも興味深く、忘れがたい映画」(トロント国際映画祭)、「世界で最も革新的な映像作家の一人」(シカゴ国際映画祭)、そしてカンヌ国際映画祭にて「新しいものを提示し、シネマの改革を示す作品」と位置づけられ、見事に監督賞を受賞したカルロス・レイガダス。上映直後から強烈な個性で賛否両論を巻き起こし、ダイアン・クルーガーやユアン・マクレガーらの審査員が選考した彼の名が授賞式で読み上げられると場内は騒然となった。

前職は弁護士という異色のキャリアの持ち主でもある若き巨匠は前作「静かな光」でカンヌ国際映画祭審査員賞を受賞、東京国際映画祭でも特集上映が組まれるなど、近年“レイガダス・ブーム”を巻き起こしている。それはアレクサンドル・ソクーロフ、テレンス・マリックなどと並び評され、世界の名匠たちの軌跡をしっかりと辿りながらも、唯一無二の世界観を生みだしているからだろう。恐れることなく人間の根源にある「欲望」をえぐり出し、独自の美学を貫いた圧倒的なエネルギーを持つ本品を観ずに、私たちは今後「映画」について語るができるだろうか。日本で初の劇場公開となるカルロス・レイガダスによるめくるめく映像世界を、ぜひご体験下さい。

観る者をイライラさせ、困惑させ、うっとりさせる映画。

The Guardian

不透明なアート映画、熟考、田舎の社会階層をめぐるスリラーが見事に組合わさったこの作品には、奇妙でパワフルな魔力がある。

Salon.com

生と死、自然と文化、セックスと金、人間と動物、神と悪魔——それらを説明しないが世界を受け入れている

The New York Times

パーソナルな記憶とファンタジーを組み合わせ、ビジュアル効果と一風変わった社会批評を織り込んだ、サイケデリックな狂詩曲

Sight & Sound

BEST DIRECTOR
CANNES FILM FESTIVAL 2012

カンヌ国際映画祭 監督賞 受賞
リマ・ラテンアメリカ映画祭 監督賞 批評家賞
シネマニラ国際映画祭 監督賞
マル・デル・プラタ映画祭 審査員特別賞
ハバナ映画祭 音響賞 撮影賞

闇のあとの光

<http://www.yaminoato.com/>

監督・脚本・プロデューサー:カルロス・レイガダス
撮影監督:アレクシス・サベ
出演:アドルフ・ヒメネス・カストロ ナタリア・アセド
原題:Post Tenebras Lux /メキシコ=フランス=ドイツ=オランダ
2012年/カラー/115分
提供:フルモテルモ、コピアポア・フィルム、日本交響楽団
配給:フルモテルモ、コピアポア・フィルム
後援:セルバンテス文化センター、谷根Prxytime、平井武子
のNoDream Cinema、Muniarriaga Producciones、
Fondo para la Producción Cinematográfica de Calidad
(Foprocine-México)、Le Pacte、Arte France Cinema

5月31日(土)ロードショー!

特別鑑賞券¥1400発売中!(税込)

劇場窓口にてお買い上げの方にオリジナル「紙焼き」をプレゼント!(数量限定)



渋谷・文化村前交差点左折

ユーロスペース

EUROSPACE

03-3461-0211 <http://europspace.co.jp>